

### 2-33-3 京都市登録天然記念物 天寧寺<sup>てんねいじ</sup>のカヤ

カヤは山林に散生する常緑高木である。社寺境内や沿道に植栽されることも多く、ヨーロッパでも公園や庭園によく配植される。材は碁盤に使われることで知られる。

このカヤは樹高 16.2 メートル、胸高の周囲は 4.78 メートルある。頂部には落雷のあとが、また幹の本堂側には天明 8 年（1788）の本堂火災時に受けたと思われる傷痕がみられる。

市内有数のカヤの大木として、昭和 62 年（1987）5 月 1 日、京都市登録天然記念物とされた。

京都市  
説明板より